

「ぼ～れば～れ」通巻 429 号所載

身についた習慣

三郷のつどい 2016 年 2 月 13 日（土）13：30～

東和東地区文化センター 参加者 25 名

クリニックふれあい早稲田の大場先生と、みさと健和団地診療所の宮本先生が参加されました。大場先生から、徘徊中の事故で JR 東海が損害賠償を家族に求める裁判のことが話されました。

Sさんは、一人暮らしをしている母が、夜中に荷物をまとめて家に帰ると言い出すことがある。GPS を持たせるのは難しいので、全部のものに名前を書いているということでした。

Yさんは、夫がデイサービスから帰ると裸になるので、どうしたら良いかという相談でした。それぞれ知恵をしぼって考えました。結論は、以前働いていたころは家に帰ったらすぐにお風呂に入っていたので、その習慣が身についているのではないかと、お風呂に入りたいのか聞いてみてはどうかとなりました。

Nさんは、夫がのどを手術して言葉が出ないため、どうしても暴力をふるうことになっていて、自分も限界にきていたが、ケアマネさんが心配して病院に入院させた。しばらくの間は、見舞いに来ないように言われたが、心配で見に行くと、元気がなくなっていて、入れたことを悔やんでしまうと話されました。

それに対して、妻を入院させた経験のある人から、最初は強い薬が処方されて、安定したところでリハビリとなるので、心配ないですよとアドバイスがあり、Nさんも安心されました。